



2021年4月28日

各位

会社名 株式会社あかつき本社  
代表者名 代表取締役社長 島根 秀明  
(コード 8737 東証第2部)  
問合せ先 取締役執行役員社長室長 北野 道弘  
(TEL 03-6821-0606)

### 連結子会社（あかつき証券株式会社）の2021年3月期決算について

当社の連結子会社であるあかつき証券株式会社（代表取締役社長：工藤英人、本社：東京都中央区）の2021年3月期決算（日本基準・連結）について、添付のとおりお知らせ致します。

なお、当社の2021年3月期の連結決算発表は5月14日（金）に予定しております。

以上

2021年4月28日

## 2021年3月期 決算のお知らせ

あかつき証券株式会社

あかつき証券株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：工藤英人）の2021年3月期決算（日本基準・連結）は以下のとおりとなりましたのでお知らせします。

（百万円未満切捨て）

## 1. 2021年3月期の連結業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

## （1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	12,383	139.0	12,339	139.1	1,542	219.6	1,559	218.3	1,047	249.2
2020年3月期	5,180	46.5	5,160	46.9	482	615.1	490	543.7	300	505.0

（注）包括利益 2021年3月期 1,047百万円（249.2%） 2020年3月期 300百万円（505.0%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	営業収益 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	26.53	—	18.9	6.7	12.5
2020年3月期	7.60	—	6.2	3.1	9.3

（参考）持分法投資損益 2021年3月期 ー百万円 2020年3月期 ー百万円

（注）潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であるため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。

## （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	27,889	6,074	21.7	153.55
2020年3月期	18,636	5,026	26.9	127.03

（参考）自己資本 2021年3月期 6,065百万円 2020年3月期 5,017百万円

## （3）連結キャッシュ・フローの状態

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	225	△318	1,700	7,846
2020年3月期	2,020	△124	1,759	6,238

## 2. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

当社グループの主たる事業である金融商品取引業の業績は経済情勢や相場環境によって大きく影響を受ける状況にあり、連結業績予想を行うことが困難であることから、開示しておりません。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数	2021年3月期	39,500,791株	2020年3月期	39,500,791株
② 期末自己株式数	2021年3月期	—	2020年3月期	—
③ 期中平均株式数	2021年3月期	39,500,791株	2020年3月期	39,500,791株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

## 【添付資料】

○添付資料の目次	1
1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
2. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12
(1 株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12
3. 補足資料	13
(1) 連結損益計算書の四半期推移	13
(2) 預り資産	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度（2020年4月1日から2021年3月31日まで）における国内外の経済情勢は、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を大きく受けた1年となりました。新型コロナウイルスの感染拡大に伴う渡航制限や外出制限等により、経済活動が著しく停滞する一方、主要国政府が積極的な財政出動や金融緩和により景気を下支えしたことで、金融市場では資金余剰となり、株式市場に資金が流入したことで、日経平均株価は期初の18,000円台から一時30,000円を超える水準まで上昇、ダウ工業株30種平均は期末にかけて33,000ドルを超え、史上最高値を更新するなど、株式市場は大幅に上昇しました。

このような状況の下、当社グループではコアビジネスである金融商品仲介ビジネス（以下、「IFAビジネス」と言います。）の拡大、及び金融機関とのアライアンスの推進、AI・フィンテックを活用したアドバイス力の強化に努めました。IFAビジネスでは、IFA事業者向けの専用サイトの全面的なリニューアルや、業界初となる債券プライシング自動応答システム（Flash Answer Pro）の導入を実施し、また段階的に追加機能の開発を進めております。さらに取引ツールやITインフラについても利便性向上のための開発を推進しており、システム面の強化に取り組んでおります。こうした取り組みに加え、強みとする対面サポート力のさらなる強化や、当社の認知度向上のためのブランディング戦略などに注力しており、結果として、2021年3月末の契約仲介業者数は95社（2020年3月末比+23社）、契約仲介業者外務員数は733名（同+234名）、IFAビジネス部門（子会社のジャパンウェルズアドバイザーズ株式会社の提携金融機関における管理資産残高を含む）の預り資産は1,451億円（前期比266.0%）と拡大しております。これに伴い、IFAビジネス部門の当連結会計年度の営業収益は9,046百万円（同476.2%）と大幅な増収となり、四半期毎では14四半期連続の増収となりました。金融機関とのアライアンス強化については、2019年11月に業務提携を開始した浜松いわた信用金庫に加え、2021年4月に足立成和信用金庫、富士信用金庫など3社と業務提携契約を締結しました。また、AI・フィンテックを活用したアドバイス力の強化として、2021年2月にグループ会社の「トレード・サイエンス株式会社」を完全子会社化し、AIシグナル取引サービス（AI分析による個別株式売買シグナル提供サービス）の取引モデルの強化を進めております。

以上の結果、当連結会計年度の営業収益は12,383百万円、（前期比239.0%）、純営業収益は12,339百万円（同239.1%）、販売費・一般管理費は10,796百万円（同230.8%）、営業利益は1,542百万円（同319.6%）と、前期比で大幅な増収増益となりました。

主な収益・費用の状況は以下のとおりです。

#### 【受入手数料】

受入手数料の合計は2,376百万円となりました。科目別の内訳は以下のとおりです。

#### [委託手数料]

委託手数料は、株式現物取引、株式信用取引を中心に1,785百万円となりました。

[募集・売出しの取扱手数料]

募集・売出しの取扱手数料は、投資信託の販売手数料を中心に 229 百万円となりました。

[その他の受入手数料]

その他の受入手数料は、投資信託の信託報酬を中心に 361 百万円となりました。

【トレーディング損益】

トレーディング損益は、債券の販売を中心に 9,937 百万円となりました。

【金融収支】

金融収益は 68 百万円となりました。また、金融収益から金融費用を差し引いた金融収支は 24 百万円となりました。

【販売費及び一般管理費】

販売費及び一般管理費は 10,796 百万円となりました。主な内訳は取引関係費 7,075 百万円、人件費 2,559 百万円、事務費 570 百万円、不動産関係費 377 百万円となっております。

(2) 当期の財政状態の概況

[資産]

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べて 9,253 百万円増加し、27,889 百万円となりました。これは、現金・預金が 1,607 百万円及び預託金が 6,214 百万円増加したこと等によるものです。

[負債]

当連結会計年度末における負債は、前連結会計年度末に比べて 8,205 百万円増加し、21,814 百万円となりました。これは、預り金が 4,169 百万円、短期借入金が 1,700 百万円及び信用取引借入金が 1,559 百万円増加したこと等によるものです。

[純資産]

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末に比べて 1,047 百万円増加し、6,074 百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する当期純利益の増加によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は 7,846 百万円となり、前連結会計年度末に比べて 1,607 百万円の増加となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは 225 百万円の収入（前連結会計年度は 2,020 百万円の収入）となりました。主な資金獲得要因は、顧客からの預り金の増加によるものです。また、主な資金支出要因は預託金の増加によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは 318 百万円の支出（前連結会計年度は 124 百万円の支出）となりました。主な資金支出要因は、投資有価証券の取得によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは 1,700 百万円の収入（前連結会計年度は 1,759 百万円の収入）となりました。主な資金獲得要因は、借入金の増加によるものです。

2. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金・預金	6,268	7,876
預託金	8,000	14,214
トレーディング商品	288	736
信用取引資産	2,728	2,827
信用取引貸付金	2,392	2,690
信用取引借証券担保金	336	137
差入保証金	350	350
その他	226	793
流動資産合計	17,861	26,798
固定資産		
有形固定資産	246	307
無形固定資産	40	64
投資その他の資産		
投資有価証券	295	457
長期差入保証金	101	121
その他	269	319
貸倒引当金	△179	△178
投資その他の資産合計	487	719
固定資産合計	774	1,091
資産合計	18,636	27,889

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
トレーディング商品	-	6
約定見返勘定	59	134
信用取引負債	1,165	2,486
信用取引借入金	729	2,288
信用取引貸証券受入金	436	198
有価証券担保借入金	135	85
預り金	8,399	12,568
受入保証金	504	535
短期借入金	2,100	3,800
未払法人税等	84	134
賞与引当金	71	170
未払金	139	418
未払費用	413	859
その他	43	82
流動負債合計	13,116	21,284
固定負債		
退職給付に係る負債	254	264
役員株式給付引当金	150	176
その他	63	65
固定負債合計	469	506
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	23	24
特別法上の準備金合計	23	24
負債合計	13,609	21,814
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,067	3,067
資本剰余金	1,349	1,349
利益剰余金	600	1,648
株主資本合計	5,017	6,065
新株予約権	9	9
純資産合計	5,026	6,074
負債・純資産合計	18,636	27,889



(2)連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業収益		
受入手数料	1,711	2,376
委託手数料	1,252	1,785
募集・売出し・特定投資家向け 売付け勧誘等の取扱手数料	154	229
その他の受入手数料	304	361
トレーディング損益	3,399	9,937
金融収益	70	68
営業収益計	5,180	12,383
金融費用	20	43
純営業収益	5,160	12,339
販売費・一般管理費	4,677	10,796
取引関係費	1,964	7,075
人件費	1,741	2,559
不動産関係費	315	377
事務費	483	570
減価償却費	66	82
租税公課	54	75
その他	51	56
営業利益	482	1,542
営業外収益	16	24
営業外費用	9	7
経常利益	490	1,559
特別損失	2	4
税金等調整前当期純利益	487	1,555
法人税、住民税及び事業税	195	569
法人税等調整額	△8	△61
法人税等合計	187	507
当期純利益	300	1,047
親会社株主に帰属する当期純利益	300	1,047

## (連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	300	1,047
その他の包括利益	-	-
その他の包括利益合計	-	-
包括利益	300	1,047
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	300	1,047
非支配株主に係る包括利益	-	-

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	3,067	1,349	300	4,717
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益			300	300
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）				
当期変動額合計			300	300
当期末残高	3,067	1,349	600	5,017

	新株予約権	純資産合計
当期首残高	-	4,717
当期変動額		
親会社株主に帰属する当期純利益		300
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	9	9
当期変動額合計	9	309
当期末残高	9	5,026

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	3,067	1,349	600	5,017
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益			1,047	1,047
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）				
当期変動額合計			1,047	1,047
当期末残高	3,067	1,349	1,648	6,065

	新株予約権	純資産合計
当期首残高	9	5,026
当期変動額		
親会社株主に帰属する当期純利益		1,047
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）		
当期変動額合計		1,047
当期末残高	9	6,074

## (4)連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	487	1,555
減価償却費	66	82
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	△1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	41	99
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	17	25
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	27	9
金融商品取引責任準備金の増減額 (△は減少)	1	1
受取利息及び受取配当金	△20	△15
支払利息	2	24
固定資産売却損益 (△は益)	0	-
固定資産除却損	-	0
預託金の増減額 (△は増加)	△2,800	△6,214
トレーディング商品の増減額 (△は増加)	249	△441
約定見返勘定の増減額 (△は増加)	△365	75
信用取引資産の増減額 (△は増加)	317	△99
信用取引負債の増減額 (△は減少)	△104	1,321
有価証券担保借入金の増減額 (△は減少)	△145	△50
預り金の増減額 (△は減少)	3,932	4,169
受入保証金の増減額 (△は減少)	171	31
差入保証金の増減額 (△は増加)	△79	△15
その他	329	195
小計	2,130	753
利息及び配当金の受取額	20	15
利息の支払額	△2	△24
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△128	△519
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,020	225

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△31	△106
無形固定資産の取得による支出	△8	△43
投資有価証券の取得による支出	△83	△177
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△6
その他	△0	14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△124	△318
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減 (△は減少)	1,750	1,700
その他	9	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,759	1,700
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,655	1,607
現金及び現金同等物の期首残高	2,583	6,238
現金及び現金同等物の期末残高	6,238	7,846

(5)連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前連結会計年度(自2019年4月1日至2020年3月31日)及び当連結会計年度(自2020年4月1日至2021年3月31日)

当社グループは、「証券関連事業」という単一セグメントであるため、セグメント情報については記載を省略しております。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自2019年4月1日至2020年3月31日)		当連結会計年度 (自2020年4月1日至2021年3月31日)	
1株当たり純資産額	127円03銭	1株当たり純資産額	153円55銭
1株当たり当期純利益	7円60銭	1株当たり当期純利益	26円53銭
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	一銭	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	一銭

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であるため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

### 3. 補足情報

#### (1) 連結損益計算書の四半期推移

(単位：百万円)

	当連結会計年度				
	第1四半期 2020.4.1 2020.6.30	第2四半期 2020.7.1 2020.9.30	第3四半期 2020.10.1 2020.12.31	第4四半期 2021.1.1 2021.3.31	当連結 会計年度 2020.4.1 2021.3.31
営業収益					
受入手数料	609	574	561	632	2,376
トレーディング損益	1,427	2,306	2,738	3,465	9,937
金融収益	16	20	16	14	68
営業収益計	2,053	2,901	3,316	4,112	12,383
金融費用	9	9	11	12	43
純営業収益	2,043	2,891	3,304	4,099	12,339
販売費・一般管理費	1,830	2,487	2,856	3,622	10,796
営業利益	213	404	448	476	1,542
営業外収益	4	3	6	8	24
営業外費用	6	0	0	0	7
経常利益	211	408	455	484	1,559
特別損失	-	2	-	2	4
税金等調整前当期純利益	211	405	455	482	1,555
法人税、住民税及び事業税	57	160	152	198	569
法人税等調整額	8	△29	2	△43	△61
法人税等合計	65	131	155	155	507
当期純利益	145	274	299	327	1,047
親会社株主に帰属する当期純利益	145	274	299	327	1,047

#### (2) 預り資産

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2020年3月末)		当連結会計年度末 (2021年3月末)	
	実績	前期比	実績	前期比
預り資産	191,081	98.0%	300,357	157.2%
うち IFA	54,575	163.1%	145,160	266.0%

(注) 預り資産残高は、当社の預り資産残高と、子会社のジャパンウェルスアドバイザーズ株式会社の提携金融機関における管理資産残高の合計となっております。